

二〇二一年度 総合学力評価テスト 読解表現総合

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

1. 問題冊子は監督者かんとくしゃの指示があるまでは開いてはいけません。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。問題冊子は受験番号のみを記入してください。
3. 試験問題の内容に関する質問には答えられません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
5. 解答用紙は持ち帰らないでください。
6. 漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受験番号

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

研究に限らず、大事業の成功に必要な三要素として、日本では昔から「運・鈍・根」ということが言われている。科学者の伝記を読むと、その人なりの「運・鈍・根」を味わうことができる。

「運」とは、幸運（チャンス）のことであり、最後の神頼みでもある。「人事を尽くして天命を待つ」と言われるように、あらゆる知恵を動員することで、逆に人の力の及ばない運の部分も見えてくるようになる。人事を尽くさずにポーツとしているだけでは、チャンスを見送るのが関の山。運が運であると分かることも実力のうちなのだ。

次の「鈍」の方は、切れ味が悪くてどこか鈍いということである。最後の「根」は、もちろん「②」のことだ。途中で投げ出さず、ねばり強く自分の納得がいくまで一つのことを続けていくことも、研究者にとって大切な才能である。論文を完成させるまでの数々の自分の苦勞を思い出してみると、「最後まであきらめない」という一言に尽きる。山の頂上をめざす登山や、ゴールをめざすマラソンと同じことである。

それでは、なぜ「鈍」であることが成功につながるのだろうか？ 分子生物学の基礎を築いたM・デルブリュック（一九〇六～八一年）は、「限定的いい加減さの原理（the principle of limited sloppiness）」が発見には必要だと述べている。

もしあなたがあまりにいい加減ならば、決して再現性のある結果を得ることはなく、そして決して結論を下すことはできません。しかし、もしあなたがちょっとだけいい加減ならば、何かあなたを驚かせるものに出合った時には……それをはっきりさせなさい。

つまり、「③」
「このように少しだけ鈍く抜けていることが成功につながる理由をいくつか考えてみよう。」

第一に、「先があまり見えない方が良い」ということである。頭が良くて先の予想がつきすぎると、結果のつまらなさや苦勞の山の方にばかり意識が向いてしまつて、なかなか第一歩を踏み出しにくくなるからである。

第二に、「頑固」徹」ということである。「器用貧乏」や「多芸は無芸」とも言われるように、多方面で才能豊かな人より、研究にしか能のない人の方が、頑固に一つの道に徹して大成しやすいことだ。誰でも使える時間は限られている。才能が命じるままに小説を書いたりスポーツに熱中したり、といろいろなことに出してしまつと、一芸に秀でる間もなく時間が経ってしまう。私の恩師の宮下保司先生（脳科学）は、「頑固に実験室にこもる流

儀」を貫いており、私も常にこの流儀を意識している。

第三に、「まわりに流されない」ということである。となりの芝生はいつも青く見えるもので、となりの研究室は楽しそうに見え、いつも他人の仕事の方がうまくいっているように見えがちである。それから、科学の世界にも流行廃りがある。「自分は自分、人は人」とわり切って他人の仕事は気にかげず、流行を追うことにも鈍感になった方が、じっくりと自分の仕事に打ち込んで、自分のアイデアを心ゆくまで育てていけるようになる。

第四に、「牛歩や道草をいとわない」ということである。研究の中では、地味で泥臭い単純作業が延々と続くことがある。研究は決して効率が悪くはない。研究に試行錯誤や無駄はつきものだ。研究が順調に進まないと、せっかく始めた研究を途中で投げ出してしまいがちである。成果を得ることを第一として、スピードと効率だけを追い求めているは、傍らにあつて、大発見の芽になるような糸口を見落としてしまうかもしれないのだ。

(酒井邦嘉『科学者という仕事 独創性はどのように生まれるか』(中公新書)より)

(1) —線部①「人事を尽くして天命を待つ」の意味として正しいものを次の中から選び、番号で答えましょう。

- 1 人にやれないことはきっぱりあきらめて、ただ運に頼るしかない。
- 2 人が悩んで考え尽くしたとしても、運の力にはとうていかなわない。
- 3 人が努力し続けることが大切なことで、運を頼るばかりではいけない。
- 4 人としてできる限りのことをした上で、あとは運に任せるしかない。

(2) 空欄「②」には「根」から始まる二字の熟語が入る。ここに入るのに適切な「根□」という熟語を書きましょう。

(3) 空欄「③」に入るものとして、最も適切なものを次の中から選び、番号で答えましょう。

- 1 予想したとおりに行うことができない、「いい加減さ」が失敗につながるものである。
- 2 予想外のことがちよっとだけ起こるような、適度な「いい加減さ」が大切なのである。
- 3 予想からはずれたものに目をつぶるような、「いい加減さ」こそよい結果を生むのである。
- 4 予想をはるかに超えてしまう、過大な「いい加減さ」を求めているのである。

- (4) この文章では、「鈍」であることが成功につながる理由として、「第一に」から「第四に」まで四つのことを挙げています。この内容についてのあなたの考えを、次の《手順》と《きまり》にしたがって、四百字以上五百字以内で書きましょう。

《手順》

- 1 四つの中から、あなたが同意（賛成）することを挙げましょう。（いくつ挙げてもかまいません。）四つの中に同意（賛成）することがない場合には、同意（賛成）しないことを挙げましょう。
- 2 1に挙げた理由について、あなたの経験などを示して具体的に書きましょう。
- 3 1、2をふまえて、あなたが今後どのようなことを心がけて生活していきたいかを書きましょう。

《きまり》

- 1 題名は書きません。最初の行から書き始めます。
- 2 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- 3 段落を変えたときの残りのマス目は字数として数えます。
- 4 「、」や「。」やかっこなども一字に数えます。ただし、「。」と終わりのかっこは同じマスに書き、一字と数えます。
- 5 最後の段落の残りのマス目は字数として数えませんが、

